

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和7年度～令和11年度（5年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（みやしょうかわ） 宮・庄川森林計画区 （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 ひだ 飛騨森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、宮・庄川森林計画区の高山市を含む2市1村に所在する約116千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区は岐阜県飛騨地方北部に位置し、森林の現況は、人工林29%、天然林54%、その他17%となっている。このうち人工林の樹種別割合は、カラマツ33%、ヒノキ29%、スギ28%、その他10%となっている。</p> <p>事業として、主伐・間伐を見据えた路網整備や主伐後の更新とその後の保育が必要な状況となっている。</p> <p>本計画区の森林は、県下森林面積863千haのうち36%を占め、豊かな森林資源を背景に古くから林業・木材産業が盛んであることから、国有林においても、地域産材の利用拡大と間伐材等森林資源の有効利用を図り、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>本計画区は、日本海に注ぐ^{しょうがわ}庄川地域の^{はくさん}白山山系、^{たかはらがわ}宮川及び高原川流域の飛騨山系、太平洋に注ぐ飛騨川の上流域である^{のりくら}乗鞍・^{おんたけ}御嶽山麓等主要河川の源流域にあり、国有林の98%が土砂流出防備保安林又は水源かん養保安林等に指定されるなど、国土保全、水源の^{かん}涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を担っている。</p> <p>また、飛騨山系、白山山系等の山岳地帯は優れた景観を有しており、自然公園法（昭和32年法律第161号）に基づき「^{ちゅうぶさんかく}中部山岳国立公園」及び「^{はくさん}白山国立公園」が指定されており、登山や森林を利用したスポーツの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能等の公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給等による地域の活性化にも貢献するため、地域特性や現地の状況、社会情勢を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>548 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,328 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>13.24 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.50 km</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	548 ha		保育面積	6,328 ha	路網整備	開設延長	13.24 km		改良延長	1.50 km
森林整備	更新面積	548 ha													
	保育面積	6,328 ha													
路網整備	開設延長	13.24 km													
	改良延長	1.50 km													

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費 7,047,305 千円（税抜き 6,406,641 千円）
費用便益分析	<p>総便益（B） 29,994,634 千円</p> <p>総費用（C） 7,847,174 千円</p> <p>分析結果（B／C） 3.82</p>
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	<p>事業の必要性、効率性、有効性が認められることから本事業を実施することが妥当と判断される。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 本事業は、現地の実態に即した保育作業コストの低減を図り効率的な林業経営を行うよう計画されており、森林の整備や間伐した木材の搬出を効率的に行うため事業を実施する必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備事業では、伐採・造林一貫作業システムの導入、現地の植生等に応じた下刈回数の縮減等により保育作業のコストの縮減を図ることとしている。また、路網整備では、既設の路網を効率的に利用する計画があり事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 計画的な保育作業の実施、自然条件や作業システムに応じて森林作業道と林業専用道を整備するなど、多面的機能を発揮する健全な森林を育成するために有効な事業であると認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岐阜県

施行箇所：宮・庄川森林計画区

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	9,518,515	
	流域貯水便益	2,021,355	
	水質浄化便益	5,638,308	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,134,550	
環境保全便益	炭素固定便益	1,325,874	
木材生産便益	木材生産等経費縮減便益	51,290	
	木材生産・確保増進便益	1,710,988	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	3,593,754	
総 便 益 (B)		29,994,634	
総 費 用 (C)		7,847,174	
費用便益比	$B \div C = \frac{29,994,634}{7,847,174} = 3.82$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{47,806,879}{9,328,497} = 5.12$
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{62,679,316}{10,437,669} = 6.01$

森林環境保全整備事業 宮・庄川森林計画(岐阜県) 事業概要図

森林整備事業（地拵）



松谷国有林

森林整備事業（植栽後）



上小鳥国有林

森林整備事業（下刈実施後）



彦谷国有林

森林整備事業（間伐）



池本山国有林

路網整備事業（林道新設工事）

（着工前）



（新設後）



栢洞林業専用道新設工事



国有林

